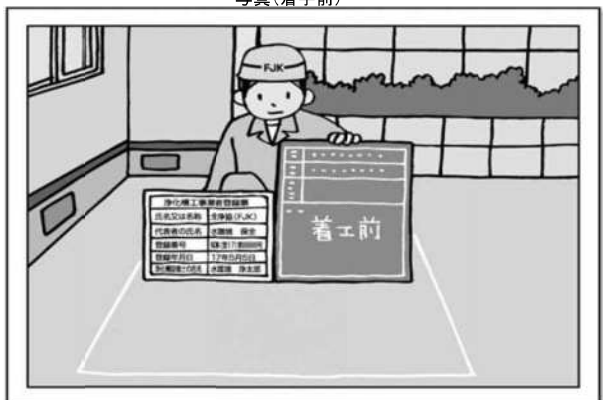


浄化槽工事写真の撮り方(例)

- 各工程毎の写真が必須となりますのでご注意ください。
- 写真の標識・工事看板は、例示の工程箇所に掲示し、文字が明確にわかるように撮影ください。

工事着事前

写真(着事前)



標識(様式第8号)

浄化槽工事業者登録票	
氏名又は名称	
代表者の氏名	
登録番号	知事(登)第 号
登録年月日	年 月 日
浄化槽設備士の氏名	

標識(様式第9号)

浄化槽工事業者届出済票	
氏名又は名称	
代表者の氏名	
届出番号	知事(届)第 号
登録年月日	年 月 日
浄化槽設備士の氏名	

標識の掲示は国土交通省「浄化槽工事に関わる登録等に関する省令第9条」に定める別記様式第8号・同第9号による。

写真のポイント

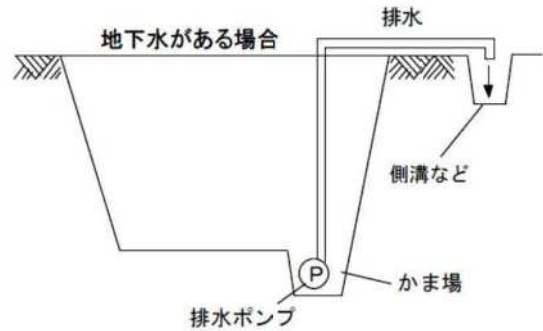
- ・浄化槽の設置場所を明確にし、周辺状況が分かるよう撮影してください。
- ・浄化槽設備士が正面を向き、顔がはっきり分かるようにしてください。
- ・標識・工事看板と一緒に撮影してください。

床堀(床付け)完了

写真(床付け完了状況)



図-1(参考)



工事施工のポイント

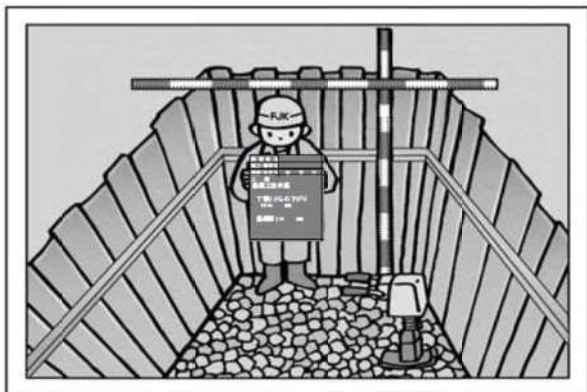
- ・土砂が崩壊しないように、関係法令等(労働安全衛生規則等)に従い、適切に行ってください。
- ・掘りすぎないように注意して掘削してください。掘りすぎた場合の調整は、捨てコンクリートで行ってください。
- ・床付け面は、平らに整形してください。
- ・地下水等がある場合は、図-1(参考)のように諸条件に合った適切な排水処理をしてください。

写真のポイント

- ・丁張り(または既設構造物等の動かないものを基準高とする。土の地面を基準高にしないでください。)から床付けまでの深さが確認できるようにしてください。
- ・床付け面の長さ、幅が確認できるようにしてください。(目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)

割栗地業(基礎碎石)完了

写真(基礎碎石仕上り状況 例1)



写真(基礎碎石仕上り状況 例2)



工事施工のポイント

- ・基礎碎石は、割栗石(大きさ45mm内外の碎石)、栗石、山砕等を地盤の状況に応じて適切に地業を行ってください。
- ・床付け面の転圧後、割栗石を敷き詰めた上から碎石(砂利)を撒いて、さらに転圧を十分に行ってください。
- ・仕上がり厚みは、必ず10cm以上を確保してください。(50人槽以下は、10cm以上と決められています。)

写真のポイント

- ・仕上がり厚さが確認できるようにしてください。(床堀完了時の基準高から転圧完了施工面までの深さで厚さを出すことも可能です。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)
- ・機械転圧作業を行っていることが確認できるようにしてください。

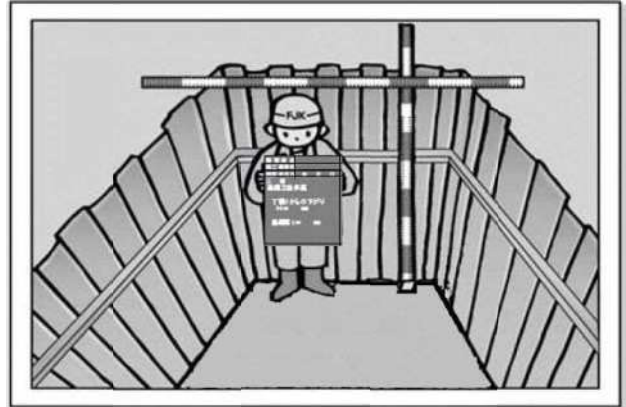
捨てコンクリート完了

(本工程を省略する場合は、次項※を参照のこと)

写真(捨てコンクリート打設状況 例1)



写真(捨てコンクリート打設状況 例2)



工事施工のポイント

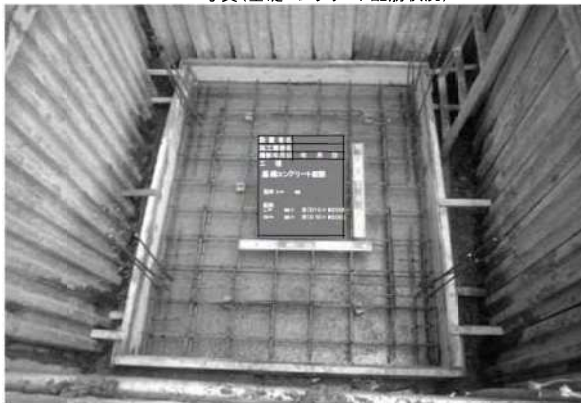
- ・ **捨てコンクリートの厚みは必ず5cm以上を確保してください。**(50人槽以下は、捨てコンクリートの厚さ5cm以上、コンクリート設計基準強度15N/mm²以上と決められています。)
- ・ 十分な養生期間をとってください。

写真のポイント

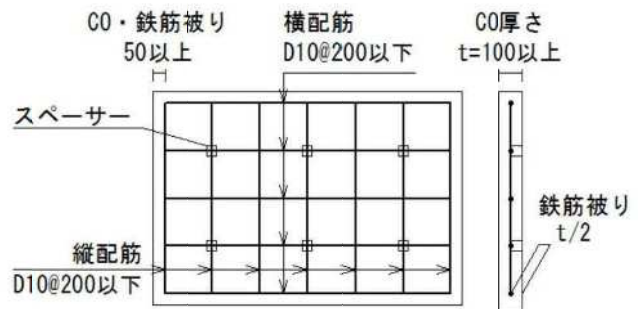
- ・ **仕上がり厚さが確認できるようにしてください。**(床掘り完了時の基準高から施工面までの深さで厚さを出すことも可能です。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)

基礎コンクリートの配筋状況

写真(基礎コンクリート配筋状況)



基礎コンクリート配筋(一例)



※特殊工事(駐車場仕様)の場合は、各メーカーの施工要領書等による。

※捨てコン上に土砂等が飛散しないよう管理すること。

工事施工のポイント

- ・ **基礎コンクリートの広さは、浄化槽外形寸法より大きくし、捨てコンクリート施工寸法より小さくしてください。**
- ・ **基礎コンクリートの厚さは、10cm以上を確保してください。**(50人槽までの個人設置型の場合は、基礎コンクリート厚さ10cm以上、コンクリート設計基準強度18N/mm²以上、スランプ18cm以下と決められています。)
- ・ 配筋は、異形鉄筋10mmを200mm間隔(シングル)で組み立て、**必ずスペーサーを設置してください。**(右上配筋図を参考にしてください。)
- ・ 十分な養生期間をとってください。

- ※捨てコンクリートの有無と基礎コンクリートの厚さ
 - 捨てコンクリート(5cm以上) + 基礎厚10cm以上 = 15cm以上
 - 捨てコンクリートを打設しない場合の基礎厚は15cm以上

写真のポイント

- ・ 鉄筋の間隔がスケール等で確認できるようにしてください。**(鉄筋が全部写るようにしてください。)**目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)

基礎コンクリート完了状況

写真(基礎コンクリート仕上り状況)



写真のポイント

- ・仕上がり長さ、幅、厚さが確認できるようにしてください。(床掘完了時の基準高から仕上り面までの深さで厚さを出すことも可能です。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)
- ・撮影時に型枠は脱却してください。
- ・1枚の写真で全体が写らない場合は、分割して撮影してください。

浄化槽本体の搬入状況

写真(浄化槽本体搬入の写真)

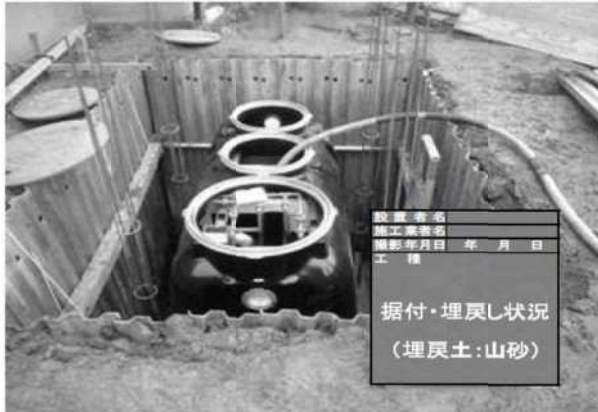


写真のポイント

- ・現場への浄化槽搬入状況、本体に明記されているメーカー、型式、人槽等が確認できるようにしてください。

浄化槽の据付・埋戻し状況

写真(埋戻し状況)



写真(埋戻し転圧状況)



工事施工のポイント

- ・ 本体を傷つけないよう山砂(小石等を取り除いた良質な土砂も可能)にて埋戻し、十分な締固めを行ってください。
- ・ 埋戻し、水締め、機械転圧による締固めは、不等沈下が起こらないように何回かに分けて一連作業を行ってください。

写真のポイント

- ・ 埋戻し状況として、埋戻し前(中)の水張り、水平確認による作業(水平器のアップ)、水締め及び機械転圧状況が確認できるようにしてください

上部スラブコンクリートの配筋状況

写真(上部スラブコンクリート配筋状況)



図-2(参考)



工事施工のポイント

- ・ 上部スラブは、原則として地盤面より3cm以上高くする等雨水の流入防止策を講じてください。上部スラブコンクリートの仕上り厚さは、10cm以上を確保してください。(50人槽までの個人設置型の場合は、基礎コンクリート厚さ10cm以上、コンクリート設計基準強度18N/m²以上、スランブ18cm以下と決められています。)上部スラブ天端上の雨水が流れるよう表面に勾配を付けてください。
- ・ 配筋は、異形鉄筋10mmを200mm間隔(シングル)で組み立て、必ずスペーサーを設置してください。マンホール開口部には周囲に補強筋を施してください。
- ・ 十分な養生期間をとってください。
- ・ 開口部補強筋については、適切に施工してください。

写真のポイント

- ・ 鉄筋の間隔がスケール等で確認できるようにしてください。(鉄筋が全部写るようにしてください。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加してください。)

上部スラブコンクリートの完成状況

写真(上部スラブコンクリート仕上り状況)

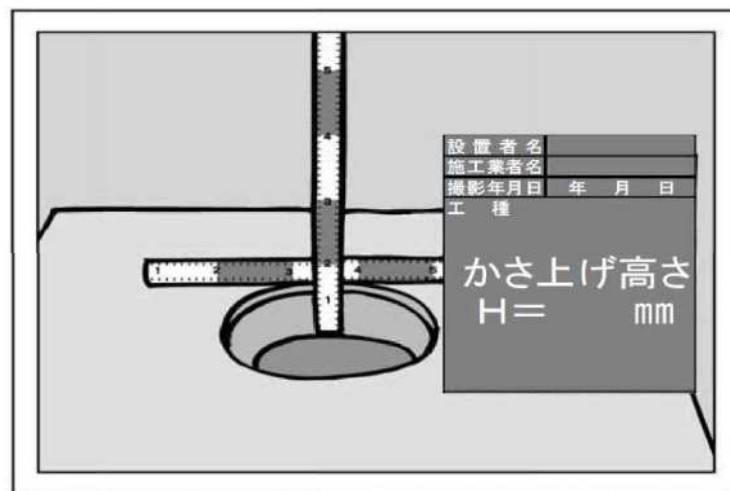


写真のポイント

- ・仕上がり長さ、幅、厚さが確認できるようにしてください。

マンホール蓋の嵩上げ状況 (嵩上げが必要な場合のみ)

写真(マンホール蓋嵩上げ状況)

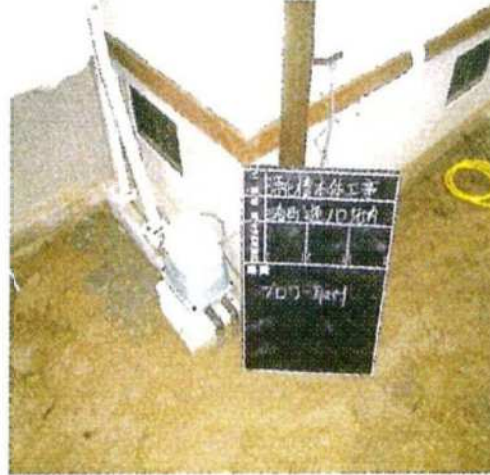


写真のポイント

- ・スケール等で嵩上げ高さが確認できるようにしてください。(嵩上げ高さは、30cm以内としてください、30cm以上になる場合は、ビット構造にしてください。)

ブロワ設置状況

写真(設置状況)



写真のポイント

- ・アース不要の機種の場合は、その旨表示をしてください。

完成写真

写真(完成状況)



工事施工のポイント

- ・残土処理、廃材処理、後片付けは適正に行ってください。

写真のポイント

- ・工事完了が確認できるよう、着手前写真の場所と撮影方向を合わせて状況写真を撮影してください。
- ・標識(8号又は9号)及び工事看板を入れて、工事の竣工確認を行った浄化槽設備士の方が写真に入ってください。

放流先



工事施工のポイント

- ・逆流のないように、放流口と放流水路の水位差が適切に保たれるようにしてください。